

四日市市立山手中学校 3年 八木橋 愛菜「私の好きな三重県」

私は三重県で十五年生きてきた。三重県は素敵な場所だといつも思う。この環境が過ごしやすいから、という理由ももちろんあるのだが、一番の理由は、この県に生きる人皆があたたかいからだ。

登下校中に挨拶をすればにこやかにかえしてくれる。地域の人々はいつも私たちのことを見守ってくれている。三重県ではたらく人々もボランティアの人も、身のまわりのたくさんの人々が手を取りあって生きている。四日市萬古焼などの伝統工芸だったり、伊勢海老などの特産品だったりを守っている人たちがいる。みんな三重県のことを、三重の人々が好きなのだと思う。

三重県は百五十年生きている。私の知る三重県はそのほんの少しにすぎないのに、私の知っているだけでこんなに魅力にあふれている。私は、三重県を、変わらずに残していきたい。私が大好きな三重県が、これからも、人々が手を取りあって、三重県のことを、三重県の人を好んでいる素敵な場所で在り続けられるようにしたい。これから、生活や建物など、いろいろなものが変わっていても、私のこの願いは変わらない。だから私は、人々と手を取り合って、人々のことを大切にしていきたいと思う。